



## 被災地の再生のために

### Purofile

所属：農業総合センター畜産研究所 担当業務：牛のゲノム評価試験（DNA解析、ゲノム育種価評価）、受精卵生産  
 出身大学：日本獣医生命科学大学

### ■ 仕事のやりがい

公務員というとデスクワークを連想しがちですが、実際は農家さんと密接に関わり、個別の相談から地域の家畜防疫・畜産振興まで多岐に渡る現場の業務に携わることができます。

7年間、県内の家畜保健衛生所で培った経験や知識を活かしながら、福島牛のブランド力向上を目指して、現在はゲノム情報を活用した肉用牛の育種改良や繁殖の業務を担当しています。

### ■ 福島を選んだ理由

県が主催する学生研修への参加がきっかけで、震災や原発事故の影響を知り、福島県の畜産業に貢献したいと思いました。

4年間勤務した相双家畜保健衛生所では、避難により経営を休止していた農家さんの営農再開支援に携わりました。経営を再開した農家さんの熱意や要望に耳を傾け、地域の農家戸数や家畜の飼養頭数が少しずつ回復していく様子を肌で感じ、復興とは何かを深く考えさせられました。

### わたしの休日

- ・ 県内の名所や道の駅等を巡り、四季折々の風景や特産物を楽しんでいます。
- ・ 今春は、初めて立入規制の緩和された富岡町夜ノ森の桜を見に行くことができました。また、相双地域の「相馬野馬追」は非常に迫力があり、相双家保では馬の救護班として関わっていたことから、毎年楽しみにしています。

### ある日のわたし

- 7：00 起床、朝食
- 8：15 出勤（通勤20分）
- 8：30 始業、メールチェック
- 8：40 ゲノム解析のための検体処理
- 9：30 検体からのDNA抽出
- 12：00 昼食
- 13：00 抽出したDNAの品質判定
- 15：30 受精卵の回収、検卵
- 16：30 牛の直腸検査、妊娠鑑定
- 18：00 事務処理、終業
- 19：30 帰宅、夕食
- 21：00 趣味の読書
- 23：00 就寝

